



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 985 回(3 月 11 日)例会の記録

- 点 鐘 栗原憲司会長
- 合 唱 四つのテスト
- 第 2 副 S A A 古谷君、浜野君
- 卓話講師 埼玉りそな銀行狭山地域統括
狭山支店長 登 和弘様
- ビジター 米山記念奨学生 金強重君
有山幸雄様(入会希望者)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	29 名	81.25%	77.42%

会長の時間

栗原(憲)会長



今日は国際ロータリー第 2570 地区ガバナー事務所のある、紫雲閣の隣にあります箭弓稲荷神社について紹介させていただきます。

「箭弓神社のご創建は奈良時代の和銅 5 年(712)と伝えられ、規模の大きさ、ご社殿・彫刻の荘厳さとご霊験のあらたかさで、信仰を集めています。社記によると平安時代の中頃、下総の国(千葉県と茨城県の一部)の城主・平忠常が謀反を起こし、大群をもって武蔵の国(埼玉県と東京都・神奈川県の一部)川越まで押し寄せてきました。朝廷は武将・源頼信を忠常追討の任に当たらせ、当地野久ヶ原に本陣を張り、頼信は野久稲荷神社に夜を徹して戦勝祈願をしました。すると明け行く空に箭(矢)の形をした白雲がにわかに現れ、敵を射るかのように飛んでゆきました。

これを見た信頼は神のご加護と奮い立ち、敵陣に攻め入り、見事に忠常軍を鎮圧したのでした。その後、信頼はご神徳に感謝して、ご社殿の建て替えを寄進するとともに、「野久稲荷」を弓と矢を示す「箭弓稲荷」と改めて呼ぶように里人に命じ

たのでした。

以来、箭弓稲荷神社は松山城主・川越城主をはじめ時代を通して多くの人たちの信仰を集め、今日では「箭弓」が「野球」の音に通じると、球児からプロ選手までお参りがあります。また、境内のポタン園前には「縁結びの木」があり、可愛いきつねの石像もあります。特に若い女性たちのお参りがあります。」と紹介されております。

私が高校 1 年の時、県下の高校の剣道大会が箭弓稲荷神社の境内で行われ、参加致しました。私自身の成績は忘れてしまいましたが、一緒に行った O 君が非常に強く、相手の 3 年生をどんどん倒したことを今でも覚えております。ちょうど 5 月でしたので「ポタン園」の見事さに感動をし、その時から趣味で俳句をしておりましたので、一句作りました。

「牡丹園出て 絵日傘を 折りたたむ」

という句です。これはその後句集「狭山」を出した時に掲載されております。また、昨年 12 月 25 日に「合同句集「塔」」の第 9 集を出版致しましたので、この帯文をご紹介します。

「塔の会」とは俳人協会が発足して 7 年後、同協会所属の中堅・若手俳人 16 人(草間時彦、加畑吉男、星野麥丘人、岸田稚魚、香西照雄、原裕、磯貝碧蹄館、八木林之介、饗田進、清崎敏郎、鷹羽狩行、岡田日郎、成瀬櫻桃子、松本旭、林翔、松崎鉄之助)によって結成された超結社の句会集団。

初会合は昭和 43 年 2 月。会員の死去・退会を重ねながらも、次々と新入会員を迎え、現在定員は 26 人。平成 25 年、発足 45 周年を迎えた。とあります。全部で 24 人おりますが、この中に私も参加しております。短文と写真、作品が 80 句ほど、そして研究と論文、略年譜が載っております。狭山市の図書館に寄贈してありますので、御目にかかる機会がありましたら、是非読んで頂ければ幸いです。



幹事報告

宮野幹事

1. ガバナー月信3月号について
2. フィリピンシキホール島、台風30号被災地支援について
3. ガバナーよりの、地区表彰、ガバナー補佐と地区委員会の活動報告月信掲載について
地区大会記念ゴルフ中止、それに代わる中井年度懇親会開催について
4. 米山記念奨学生カウンセラー会議について
5. RIよりの会員増強詳細報告について
6. 日本事務局よりの財団NEWSについて
7. 春の交通安全運動、広報啓発活動協力依頼について
8. 例会変更 所沢RC 新所沢RC 人間RC
所沢中央RC 人間南RC
飯能RC 狭山RC
9. 受贈会報 所沢RC 所沢中央RC
飯能RC 人間南RC
10. 回覧物 難民を助けるAARニュース

米山記念奨学生 金強重君あいさつ

今日で米山記念奨学金を頂くのは終わりとなりますが、ここで知り合った皆様との絆を大切に考え、これからも会社で、また社会で、韓国と日本の架け橋となる役割を果たしたいと思っております。



会社の予定等が合えば、顔出しが出来たら良いと思っておりますが、その時はどうぞ宜しくお願い致します。これからも頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

喜寿の祝 片山 進会員

喜寿のお祝いありがとうございました。

私は、77歳まで生きておりました。このまま行くと100歳まで生きられるのではないかと思いますので、皆さんよろしくお祈りします。お祝いを頂くということは、非常に嬉しいことです。皆さんも100歳位まで頑張るつもりで、やっていって下さい。私も頑張ります。



「外来卓話」・・・・・・・・・・

《講師紹介》

竇積克彦会員

多くの皆さんが今日の卓話の講師、登さんの事はご存知だと思います。

登支店長は1961年10月10日生まれの52歳で、兵庫県・神戸市の出身でございます。国立神戸大学の経済大学を卒業され、すぐに埼玉銀行に入行されました。そして埼玉銀行があさひ銀行に、あさひ銀行が埼玉りそな銀行にと変わって参りまして、ちょうど2009年、40代で埼玉りそな銀行・与野支店長を務められ、2年前に狭山地区統括、狭山支店の支店長になられました。

今年で30年、本日のお話は銀行員生活30年を振り返ってということで、お話を頂くことになっております。宜しくお願い致します。

『銀行生活30年を振り返って』

埼玉りそな銀行狭山地域統括

狭山支店支店長 登 和 弘 様



数か月前に竇積先生から卓話のお話を頂きましたが、私のようなものがどのようなお話をしたら良いかわからず、大体銀行の支店長と言いますと経済の話や景気の難しい話を皆さん期待されているかと思いますが、私は経済評論家ではありませんので、皆さんに喜んで頂ける話は出来ないのではと思っておりましたので、銀行に入ってから30年、私が経験したり、見たり感じたことをお話させて頂きたいと思っております。

銀行も商売ですので、上手く付き合いますとお金も安く上手く借りられますし、銀行員が嫌いなことをしますと、利子も高くなりますし、借りづらくもなりますので、是非ご参考にして頂ければと思います。

私の両親は神戸市の長田区で生まれ育てられておまして、私の実家も阪神淡路大震災の時に全焼してしまいましたが、父親と母親は商店街で果物屋をしており、小さい頃から周りの商売人のおじちゃん、おばちゃん、あるいはお店にいらっしゃる方と日々接しておりましたので、今でもお客様の所に行く等といったことはわりと得意です。

神戸市の出身で、親も果物屋さんでしたので、そんなに裕福ではありませんでした。学校は神戸

市立の学校と兵庫県立の学校、大学も国立の大学に行きなさいと言われておりました。

1984年3月に大学を卒業し、4月に埼玉銀行の北浦和西口支店に入りましたが、就職活動の時に、当時は総合商社と銀行を含めた金融機関が非常に人気でしたので、この仕事がしたいというものがあつたわけではありませぬので、銀行を沢山受けました。お恥かしい話ほとんどの銀行で採用されませんでした。今ではりそなを含めて4つしかない都市銀行が、当時は13個ありましたが、採用の人に「君は銀行員に向いていない」と言われました。「どこに向いていないのですか？」と聞きましたら、「そういう口のきき方が向いていない」と言われたのを、今でもよく覚えています。

埼玉銀行は私の年に初めて、関西からの採用を始めました。この話をしましたところ「当行はそのような人材を求めている」と、すぐ採用して頂けました。途中嫌なことも沢山ありましたが、お陰様で30年間勤めることができました。

最初、どこの支店に配属が良いかという希望を聞いてもらえたのですが、東京の地名が新宿くらいしかわからず、「新宿」と書きました。しかしなぜか北浦和西口という、どこにあるのかわからないお店に配属になり、そこで4年間仕事を致しました。今は若い人も1年~1年半位でお客様の所に訪問致しますが、当時の最初の部署はお金を数える出納係で、来る日も来る日もお客様から集めたお金を数えておりました。

北浦和とは三国コカコーラの浦和営業所があり、毎日100円玉を、夏ですと100円玉で1千万以上あるのですが、それを来る日も来る日も数えておりました。手を洗わずにトイレに行くと、膀胱炎になり、夏、凄く辛い思いをしたことを今でも覚えております。この仕事を1年少ししておりましたが、嫌で嫌で仕方がなく、この仕事を次の新入行員にはやらせたくないと、外部委託をしてもらうことになりました。

その後預金係となります。預金係とは、当座預金の係りなのですが、当時ATMがあまりなく、CD(Cash Dispenser)というお金を下ろすだけの機械で、それが壊れたら直しに行っておりました。当時は今のように性能も良くなく、しょっちゅう止まっておりました。そのような仕事を2年位しておりました。

銀行とは、私が入った頃はお金を貸すよりも、定期預金をとってこいという時代でした。1984年頃はまだ変わりかけの頃だったのかもかもしれませんが、昭和40年前位から日本はとにかくお金がなく、企業さんはとにかくお金が借りたいという状況で、銀行は貸すためには預金が必要ですので、預金さえ集まればいくらでも儲かるという状態でした。そのため、とにかく定期預金をとってこいという時代でした。その後後半の2年位は、住宅ローンや企業さん、と言いましても町の自転車屋さんや中小企業のご融資の仕事のお手伝いをして、北浦

和での4年間が終わったことを覚えております。

1975年から1984年の日本国債の利息値は6.5%です。定期預金も4%、5%で、ドル円の為替レートが270円、1984年は240円位でした。私が4年北浦和で勤めていた時には、総合資金部の国際資金室というところでしたので、まさに為替の、ドル円のディーラーの仕事でした。120円45銭というのが、ドル円の為替レートの、円高のトップを付けた直後だったので、4年間で円の値打ちが倍になり、ドルの値打ちが半分になったという、当時はそんなことは考えておりませんでした。そのような北浦和の4年間でした。恐らくその後、為替が、円が非常に強くなったので、日銀が金利を下げ、円があまり強くないようにとしたことがバブルの始まりだったのかと、今でも思います。日銀は金利を下げ、金利で為替を操作しようとし過ぎたのではないかという気がします。

私がディーラーをしていた時代は、120円~140円位まで戻るといった1年間で、だいたいドルを買っていれば儲かったという時代でした。為替の担当をしていた1年間は、年間で1億円位儲かりましたが、給料には何も反映しませんでした。

1989年7月、日興証券のヨーロッパ現地法人があるロンドンに、証券の勉強をしに行きなさいと言われてました。当時ワラント付社債や転換社債(Convertible Bond)等、日本の企業はそうしたものを、実は証券取引法がありまして、日本国内の資本市場は非常に閉鎖的で、日本国内ではこうした社債が非常に発行しづらかったので、ロンドンのユーロマーケットやスイスフランの市場等、非常に規制の緩い、自由な市場で日本の企業さんが社債を発行され、非常に大量の資金を調達しておりました。

ワラント付社債とは社債にワラント権(新株引受権...新しい株を最初に決めた値段で買う権利)が付いているもので、例えば発行したときの1000円で株が買えますよという権利がついているものです。株価が2000円に上がっても、1000円で2000円の株が買え、株価はバブルでどんどん上がっておりましたので、こうした社債が流行ったり、CBとは社債を株に換えられる社債ですが、企業さんは社債だと期日がきたら返さなければなりません、転換社債で株に換えるとお金を返さなくて良いということで、得だと言っておりました。冷静に考えますと、後で配当も払わなければなりませんし、株に換われば株価が下がりますので、株価の対策もしなければならず、また今は減りましたが、上場企業さんは企業が経営権を保持するために、銀行と株式の持ち合い等を一生懸命されておりましたので、非常にコストの掛かるものだと、私は若いながらに思っておりました。しかし当時松下電器さん、NECさん、富士通さんもあまりそんなことは考えていなかったようで、お金が沢山入れば良いといったような、まだバブルの尾を引いているような時代でした。

その後 1990 年に日本に帰ってきましたが、資本市場部という、ロンドンで行っていた仕事の日本の窓口のような仕事をしておりました。この時私が引き継いだ人が、今りそな銀行で社長をしております東さんという方なのですが、私の前任者は社長になったのに、私は未だに支店長なので、どこでどう間違ってしまったのかと思っております。もう一つ言いますと、総合資金部の時に私の上司だった池田さんと言う人は、4 月から埼玉りそなの社長になることになりました。なぜか私の上司は偉くなりますが、私はあまり偉くならず、おかしいなと思っております。是非皆さんに応援して頂きたいと思えます。

銀行と証券会社をしっかりと分けなさいという証券取引法で、銀行が株式を売ることもできませんし、証券会社が預金を預かることができないということで、日本の銀行や証券会社は海外でやっておりましたが、銀行が証券子会社を作っても良いと、少し法律が緩くなりまして、当時都市銀行が沢山ありましたが、証券子会社を作るような手筈になりました。やはり日本ですので、最初は大きなところ、第一勧銀さんや富士銀行さん等から作るのかと思っておりましたが、大きなところから作ると問題が大きいので、なぜか中くらいのあさひ銀行が 1 番に作って良いということになりました。私は何年間か証券の仕事をしておりましたので、「あさひ証券に出向しろ」と言われ、あさひ証券に出向し、国内の社債の引き受けの仕事を少し致しました。

そのお客さんの中にエーザイさんという薬会社がおりましたが、エーザイさんの経理部長は神戸大学を卒業された方で、ちょうど担当をしておりましたら、「埼玉銀行で神戸大学を卒業している人は珍しいから、登君を出向させてくれ」と、何故か行くことになりました。日興証券のロンドン研修も、現りそな銀行社長の東さんが私の 2 人前におりまして、私がエーザイに出向したのも東さんの次の次でした。

エーザイにいる間は財務部におりました。今は M&A や研究開発費を多額に使うため、資金調達をされているようですが、当時薬会社はキャッシュリッチでしたので、お金を借りなくても、当時エーザイさんは「アリセプト」というアルツハイマーの薬の研究開発や、「パリエット」という胃薬を作っており、非常に調子が良い時代でした。銀行と違う仕事を 2 年ちょっと担当させて頂きましたが、今までの話を総合すると、新入行員として北浦和西口支店で働いた以外は、銀行員の仕事は殆どしておりません。為替のディーラーをし、ロンドン研修に行き、帰って証券の仕事をし、証券子会社に出向、そしてそのまま薬屋に出向した訳ですので、新入行員の時にしていたお札の勘定はできませんが、銀行のことは殆どしておりません。その間、バブルを終えて株価は暴落の一途をたどり、エーザイさんにいる時は、エーザイさんの株

式の含み損はあさひ銀行が一番と、毎日辛い思いをしていたのを今でも覚えております。毎日ホワイトボードにどこの銀行の含み損が幾らと書かれており、エーザイさんはあさひがメインバンクで株を沢山もっておりまして、最終的には強制評価減を入れるところまで来て、はやく銀行に戻してくれないかと思ったことがございます。

その後エーザイから戻る時に、支店の仕事をあまりしたことがなかったので、できれば本部か本店営業部のようなところを希望しておりましたが、「池袋西口支店の副支店長になれ」と言われました。今はもうありませんが、池袋西口支店は池袋の丸井の前にあり、周りはソーブランドやキャバクラばかりのところ、ヤクザは毎日来ませんが、街金の人々が毎日来るのです。小切手等を入金しにくるのですが、入金させるとややこしいので、要は「ふざけるな、都市銀行をなめるな」と追いつのが仕事でして、向いていると言われたこともありますが、私的にはきつかったのを覚えております。その他に池袋西口支店でやった仕事は、池袋ウェストパークゲートがあるので、浮浪者や酔っ払いが来たら追い出すこと、女性が「副支店長、シャッターが閉まりません」と言うので見に行きますと、酔っ払いの人が挟まっており、「おじさん、ふざけるな」と叩きだしたこともよく覚えております。池袋西口支店も支店ではありましたが、そういう意味では銀行の仕事をきちんとしたかといえますと、疑問です。

ここまでで 15 年経っておりますので、私 15 年間でまともに仕事をしたのは新入行員の頃だけで、皆さんに銀行のお話をちゃんと出来ずに恐縮しております。そしてこの間にあったこととはエーザイに行っていた頃ですか、北海道拓殖銀行、山一証券、三洋証券が潰れた等、金融危機がこの頃であったのだと思います。

池袋西口支店にいる前後とは、今銀行は貸出を毎年「半年でいくら伸ばしなさい」という目標が本部からくるのですが、この当時は「いくら減らしなさい」という目標がきておりました。貸すお金がなかったのです。いつどうなるか、今で言う貸し剥がしの走りだったのだと思います。銀行は 3 月決算ですので、池袋西口支店は東武グループのお取引がございまして、流通業は 2 月決算ですので、「2 月は貸しますので 3 月は富士銀行さんから借りて下さい」と富士銀行さんに振っていたのを今でも覚えております。

最初の 15 年位のことを考えますと、皆さんの役にたつことは何もしていなかったように思います。今は埼玉県で集めたお金を埼玉県で有効に使って頂くためにご融資するということが、埼玉県の皆様に信頼され、地元埼玉と共に発展する銀行と掲げておりますので、正にその通りやっておりますが、当時は預金を埼玉県で集めて、東京に持っていき、ドカンと貸すということが埼玉銀行時代からの営業スタイルで、そしてドカンと貸したお金

が帰ってこなくなったのであさひ銀行がおかしくなったという話です。その後 11 年間しかなかったお店でしたが、池袋西口支店が廃店になり、池袋支店に統合となります。そして私はめでたく 2001 年 7 月にあさひ銀行の小手指支店長になぜか昇進することができました。これが初めての支店長でした。

7 月に小手指支店長になりましたが、10 月からあさひ銀行の株価が暴落し始めました。東海銀行と三和銀行と合併するといっていたのですが、なぜか止めたということで、恐らく偉い人が自分のポジションが無くなるからではないかと今でも思っておりますが、あさひ銀行はもうどことも一緒に成れない、するとあさひ銀行くらいの規模だと潰れてしまうのではないかとということで、非常に信用不安が起こり、あさひ銀行の株価は 700~800 円位から 100 円を切る水準まで数か月の内に落ち、時をほぼ同じくしてペイオフが始まるということで、預金がどんどん出ていき、小手指支店時代はお金を貸してはいけないと言われておりました。その後りそなになりまして、埼玉りそな銀行ということで、埼玉県を唯一の地盤としてやっていこう、今まで埼玉銀行からあさひ銀行時代にかけても地元の埼玉県をあまり大事にしてこなかった報いがこうなったのだから、これからは埼玉県から外に出られないように、埼玉りそな銀行とは埼玉県だけ別にしようとした銀行ですので、お客様にはよく戻って来たねと言われ、今 10 年ちょっと経つところですが、頑張っております。

その後久喜支店の営業第一部長となり、この地域の担当でしたが、本部でプロモーションオフィサーの仕事をしておりました。プロモーションオフィサーとは「こんな成績で良いのか、支店長の代りなんかいくらでもいるのだ。と言え」と役員から言われ、それを言うのが仕事です。自分がその後与野支店長になって、「偉そうにしていたのが、全然ダメじゃないか」と言われたのを覚えております。私は銀行生活で嬉しいことは、銀行の中ではあまりありません。ただお客様に「支店長ありがとう」「よくやってくれたね」と言われることは、今でも非常に嬉しいです。

銀行員の前半は本部等色々な仕事をし、後半は副支店長になってから 15 年で、30 年の内 15 年は副支店長と支店長をさせて頂いており、有り難く思っております。支店長として皆さんに可愛がって頂いて、ここまでこれたのだと思っております。銀行に入った時には支店長はとても偉いのだと思っておりましたが、自分になってみて、関西で「えらい」とは体がしんどいということなのですが、そういう意味では「えらい」と思います。

最近の新社員にアンケートをとりますと、支店長になりたくないという人が多いようで、何故かというところ「大変そうだから」ということが答えだそうです。そういう会社もどうかと思いますが、私も支店長になりたいと思われるような支店長

になれるように、笑顔でこれからも頑張っていきたいと思っております。

最後に、消費税が上がった後にどうなるかというお話なのですが、恐らく 4 月 5 月は反動がくると思いますが、その後は感覚ですが、消費税自体はたいしたことは無いと思います。もう一回また今回はあがりますので、今回の消費税の上げについては、お客様から色々聞いている範囲では 4 月 5 月を過ぎれば、そんなに大きな影響はないのではとおっしゃっている方が多いように思います。

埼玉りそな銀行、りそなグループは平成 15 年 5 月にお借りした公的資金が、当時 3 兆 1 千 2 百億円ありましたが、あと 3 千億円強の所までまいりました。あと 3 年位で全額返済できる予定でがんばっております。りそなになって 10 年経ち、少し気が緩んでいるのではないかと私自身思いますし、今銀行で働いている人の内半分は、りそなショックになったときにまだ銀行員ではなかった人です。私は大東亜戦争は経験しておらず、母親は満州に行っていたのですが、そういう話を聞き、そんなことがあったのかと子供の頃に思いましたが、私たちは今の若い銀行員の人に、昔こんなことがあったけれども、お客様が助けてくれたから今のりそながあるのだということを伝えていきたいと思っております。

りそな銀行以外にも銀行はたくさんありますので、最終的な判断はお任せ致しますが、何かあったらまず真っ先にりそなにご相談頂ければ必ずお役に立てるように頑張りますので、宜しくお願い致します。

)
)
)



ニコニコボックス

有山様 2回目の体験例会です。会員の皆様よろしくお願ひ致します。また、本日は登さんの卓話を楽しみに参りました。

栗原(憲)君 埼玉りそな銀行狭山地域統括狭山支店支店長、登和弘様ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願ひ致します。

宮野君 先日は親睦旅行大変お世話になりました。委員の皆様ありがとうございました。本日は、埼玉りそな銀行の登様、ようこそお出で頂きました。卓話楽しみにしております。

江原君 埼玉りそな銀行狭山支店支店長登和弘様本日はようこそお出で下さいました。お話し楽しみにしております。何卒よろしくお願ひ致します。

米山奨学生の金君、二年間での我が狭山中央RCは、如何でしたか？今後も時間のある時は立ち寄って下さい。そして大きく成長した姿を見せて下さい。楽しみにしております。四月からの社会人生活、頑張ってください。応援しています。

稲見君 埼玉りそな銀行狭山支店支店長登和弘様、今日の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

寶積君 登支店長、卓話楽しみにしています。3・11を風化させないキャンペーンで、本日、大生病院食堂で蒲鉾・辛子明太子等を販売しています。結婚祝ありがとう、44年間ずっと仲良しです。

片山君 喜寿の祝ありがとうございます。やっとなり77歳になりました。

栗原(成)君 シルクドゥソレイユの公演とても良かったです。小島親睦委員長さんありがとうございます。

東日本大震災、今日で3年経ちました。女川町も少しずつ復興しているようです。いつもご支援ありがとうございます。

奥富君 登様、今日の外来卓話よろしくお願ひ致します。

小澤君 埼玉りそな銀行狭山支店長・登様、ようこそいらっしゃいました。卓話の中で、消費税増税後の景気動向にも触れられると思います。楽しみにしております。

若松君 先月は欠席ばかりで申し訳ありません。今月、来月と休む事が多くなりそうです。よろしくお願ひ致します。

会員誕生祝 浜野君 片山君 柴田君 坂本君

夫人誕生祝 小幡君

結婚記念日 寶積君 栗原(憲)君 栗原(成)君 奥富君

次の例会

第2副SAA 小島君 小室君

3月25日(火) 12:30~13:30

外来卓話 航空自衛隊入間基地・中部航空方面隊

副司令官・空将補 鶴田眞一様